

令和3年5月18日 第58回東海再処理施設安全監視チーム会合  
議論のまとめ

令和3年5月18日  
東海再処理施設安全監視チーム

- 本資料<sup>1</sup>は、令和3年5月18日の東海再処理施設安全監視チーム（以下「監視チーム」という。）の第58回会合における議論について、監視チームから日本原子力研究開発機構（以下「機構」という。）に対する主な要求事項を整理し、東海再処理施設の安全対策に係る議論を簡易的にまとめたものである。

## 1. HAW及びTVFの内部火災対策について（資料2）

### 【監視チームの指摘】

- 今後火災防護計画等に定めるとしている、火災防護審査基準の要求事項を満足することが困難な設備に係る代替策については、技術基準規則に照らして同等の保安水準の確保が達成できるとしていることに関して、令和3年8月の変更認可申請において示すとしている火災対策の詳細設計と併せて、検討の進捗状況に応じて適宜監視チーム会合において説明すること。

### 【機構の回答】

- 指摘について了解。

## 2. HAW及びTVFの内部溢水対策について（資料3）

### 【監視チームの指摘】

- TVF配管分岐室のトランスミッタラックが機能喪失した場合の対応について、運転停止操作の実施の有無に係るメリット・デメリットを比較した上で運転停止操作を行うことが妥当であると判断したことについて了解した。
- 令和3年8月の変更認可申請において示すとしている内部溢水対策の詳細設計については、監視チーム会合において適時検討状況について説明すること。

### 【機構の回答】

- 指摘について了解。

---

<sup>1</sup> 本資料は、会議の進行と同時並行で作成していることから、正確な表現ではない部分があります。また、誤字脱字、体裁等については、会議後に修正のうえホームページに掲載しています。

### 3. 分離精製工場（MP）等の外部事象に対する安全対策について（資料4）

#### 【監視チームの指摘】

- MP等の安全対策については、これまでの会合及び面談においても、各施設のウォークダウン結果を含め内容を確認しているところ。今後、5月末の変更認可申請に向け内容を精査し、資料の精度を高めて申請すること。
- ウラン貯蔵場の外部事象への対応について、貯蔵容器に一定の強度があることから直ちに安全上の問題が生じるとは考えていないが、回収ウランの貯蔵管理については、中長期的な視点で、より安全な貯蔵ができるように検討していくべき。

#### 【機構の回答】

- 指摘について了解。網羅的に整理して申請する。
- 回収ウランについては、現状として、先ずしっかりとした対応を図り貯蔵管理することを優先とする。なお、中長期的にはより安全な管理ができるように検討を継続していく。

### 4. HAW及びTVFの安全対策に係る性能維持施設の追加について（資料5）

#### 【監視チームの指摘】

- 性能維持施設の追加にあたっては、安全対策に係る廃止措置計画変更認可申請において新たに設けるとした施設及び位置づけを改めた施設を、選定の考え方にに基づき漏れなく選定していることについて、5月末の変更認可申請に向け内容を精査し、資料の精度を高めて申請すること。

#### 【機構の回答】

- 指摘について了解。網羅的に整理して申請する。

### 5. 既認可の廃止措置計画の実施方針に基づく工事の計画について（資料6～9）

#### 【監視チームの指摘】

- 工事の計画については、これまで面談において詳細な内容について事実確認をしている。今後、機構において5月末の変更認可申請に向け内容を精査し、精度を高めて申請すること。

#### 【機構の回答】

- 指摘について了解。

## 6. TVFの運転準備状況について（資料10）

### 【監視チームの指摘】

- 結合装置と溶融炉の取付け状態の再調整については、運転開始後に安定的なガラス固化を実施できるよう、工程を優先せず点検等の準備作業を確実に実施すること。
- 想定される不具合事象のうち、復旧期間が長期に渡るとしているものは、予備品の確保等の対策を講じることにより復旧期間を短縮することができるよう、積極的に対策を検討すること。

### 【機構の回答】

- 取り付け状態の再調整について、安定して運転できるよう、原因究明を十分にして対策を図る。
- 予備品の確保等の対策について、継続的に検討し、不具合が発生した場合の復旧期間の短縮化に努めていく。